

令和6年度 国土地理院の取り組む教育支援説明会

「国土交通省の 河川教育に関する取組」について

国土交通省
水管理・国土保全局
令和6年7月31日

防災教育について

防災課

「防災学習ポータルサイト」のリニューアルについて

- 国土交通省では、平成30年3月より防災教育に活用できる素材を掲載した「防災教育ポータル」を開設し、学校や地域における防災教育を支援
- 令和6年4月には、新たに「防災学習ポータルサイト」としてリニューアル

【リニューアルの内容】

- ◆子どもが自発的に調べ、自ら学習することができるよう、教材・素材の紹介文を分かりやすく記載した **子ども向けページの作成**
- ※ワンクリックで切り替え可能な「防災教育ポータルサイト」も教員向けサイトとして継続
- ◆ユーザインターフェースの改良により**教材の見やすさ改善、検索の利便性向上**
- ◆全国各地の**災害に関する写真・動画を追加**



子ども向けページ(左上)と教員向けページ(右下)



全国各地の災害に関する写真・動画の検索ページ

- 「防災学習ポータルサイト」では、児童、生徒が自ら防災を学ぶことができる動画をはじめ、楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム等、数多くのコンテンツや教材を掲載
- 今後も、様々な防災に関する写真、動画といった素材や最新の教育現場の実態に即した教材等を随時追加していく予定

災害時の危険な状況や気をつけるべきポイントをまとめた「**カードゲーム**」や授業を補完する「**動画**」、防災教育を行う教員のための「**ガイドブック**」もこのポータルに！！



▲防災カードゲーム
「このつぎなにがおきるかな？」
～洪水・津波編、土砂災害編、地震編を公開しています～



▲子ども向け動画
「災害から身を守る」



▲子ども向け動画
「流れる水の働きと土地の変化」



▲教員のためのガイドブック
「いのちを守る 教員のためのブックレット」



防災学習ポータルサイト

検索

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>



学習指導要領について

防災を含む安全に関する教科等横断的な教育内容の例

小学校

本文の2
 (2) 各学校においては、児童や学校、地域の災害及び児童の安全の状況等を考慮し、豊かな人生の実現や将来等を視野にわたって、児童の安全を確保するものとする。

安全に関する教育は、防災を含む安全に関する教科等横断的な教育内容として実施される。

これらに示す事項に示す内容の範囲・能力・教科等横断的な観点で示されていることである。各学校の特色を生かした教育課程の

総則	体育科	特別の教科 道徳	理科	社会科	図画 工作科
総則 児童は、学校教育を通じて、心身の健康を促進し、豊かな人生の実現や将来等を視野にわたって、児童の安全を確保するものとする。	特別の教科 道徳 【特別の教科道徳第5学年及び第6学年】 A 主として自分自身に関すること [節度、節制] 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	特別の教科 道徳 【特別の教科道徳第5学年及び第6学年】 A 主として自分自身に関すること [節度、節制] 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	理科 【理科・第5学年】 B 生命・地球 (3) 流れる水の働きと土地の変化 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する可能性があること。 [※自然災害についても触れること]	社会科 【社会科・第5学年】 (5) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
家庭科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	生活科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
家庭科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	生活科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
家庭科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	生活科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
家庭科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	特別活動 【学級活動】 (2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事	生活科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	図画 工作科 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編

学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

既存の防災啓発動画の授業での活用

視聴覚教材の活用例 ①

小学生向け動画

「小学5年生理科 流れる水の働きと土地の変化」



動画配信

国土交通省 水管理・国土保全局

[防災教育ポータル] から再生できます。

1 概要

全編アニメーションである。川の成り立ち(上流・中流・下流)や水の働き(流る・運ぶ・たまる)について解説している。そして、流域の成り立ちと、流域の土地利用(扇状地・三角洲)について学ぶことができる。洪水、治水についても説明されている。クイズもある。



2 動画の構成



3 対象学年・単元

- | | |
|-------------------|----------------|
| 小4理科 雨水のゆくえと地面の様子 | 小5理科 雨水のゆくえ |
| 小4社会 水はどこから | 小5理科 流れる水のはたらき |
| 小5社会 高い所低い所でのくらし | 小6理科 大地のつくり |

- | |
|---------------------|
| 中1社会 地域の特徴や課題の理解 |
| 中1社会 自然災害と防災の取組 |
| 中1理科 身近な地形や地層、岩石の観察 |
| 中1・3理科 自然の恵みと気象災害 |

4 具体的な活用場面

理科

小4 (雨水のゆくえと地面の様子) 川の成り立ち 0'55~1'43

理科ひるば「雨水による災害をふせぐ」では、川の水も高いところから低いところに流れることが災害につながることを説明している。川の成り立ちを確認することで地下鉄の駅の入り口が高いことや止水板を設置している理由の理解に有効である。

小5 (流れる水のはたらき) 流れる水の働き 1'44~4'26

流れる水の働きの実験終了後に動画を見ることで、灌漑、運送、発電の働きによって大地ができたことを確認することができる。実験結果と自分が住む町の大地の成り立ちをつなげて考えることに有効である。

小6 (大地のつくり) 川の成り立ち、流れる水の働き 0'55~4'26

地層ができるしくみの実験終了後、動画を見ることで、地層の成り立ちが流れる水の働きと関連していること及び同様の現象が自然の中で起こっていることを確認することができる。

中1 (身近な地形や地層、岩石の観察) 流れる水の働き 1'44~4'26

小学校の学びの連続性として活用できる。

中1・3 (自然の恵みと気象災害) 人間vs洪水 4'27~4'41

気象現象による災害のイメージを持たせ、普段の生活からできる気象災害への備えや災害時の対応について考えさせることに有効である。

社会

小4 (風水害からくらしをまもる) 川と共に生きる 7'02~7'36

川と共に生きるでは川の増水を防ぐための公助(知る・広げる・備える)が紹介されており、国と県が協力して行われている様々な工事についての理解に有効である。

小5 (高い所低い所でのくらし) 流れる水の働き 1'44~4'26

流れる水の働きによって上流と下流にたまる土砂の量の大きさが異なることについて説明されている。教科書で高い土地と低い土地で育てている作物がなぜ異なるのかを理解するのに有効である。

中1 (地域の特徴や課題の理解、災害と防災の取組) 流れる水の働き、人間vs洪水 1'44~4'41

4'27の前後に分けて見せることで、地域の特徴や課題を分けて考えるのに有効である。前半の地域の特徴については扇状地と三角洲の特徴に触れられ、後半の地域の課題については災害と防災の取組に触れられている。

5 その他 教科等横断的な視点

家庭

小6 (地元食材を活かした調理実習) 流れる水のはたらき 1'44~4'26

地域の食材を活かして調理実習をする際、自分たちの住む地域が高い土地か低い土地かを考え、地域の土地に適した食材を活かして調理実習を行う。

学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

既存の防災啓発動画の授業での活用 視聴覚教材の活用例②

防災教育動画

「災害から身を守る」



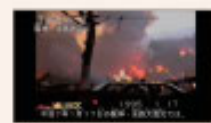
動画配信
国土交通省 関東地方整備局
[防災教育ポータル] から再生できます。



1 概要

ハザードマップの見方や入手方法、5段階の警戒レベルと避難指示、避難の情報をする方法を学ぶことができます。災害時に情報収集をする重要性や普段から家族の行動のスケジュールを決めておく「マイタイムライン」の必要性を理解できる。
※05からの近年の大きな自然災害、自然災害の映像が映り、配慮が必要。

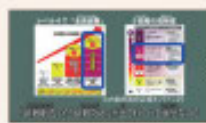
2 動画の構成



005 近年の大きな災害



250 ハザードマップとその調べ方



627 警戒レベル避難指示



715 気象や避難の情報



830 マイタイムライン

3 対象学年・単元

- 小4社会 風水害からくらしを守る
- 小5社会 自然災害をふせぐ
- 小5理科 わたしたちのくらしと自然災害

- 中3社会 自然災害と防災の取組
- 中学全学年理科 自然の恵みと気象災害・地震災害

4 具体的な活用場面

理科

小5 わたしたちのくらしと自然災害

ハザードマップとその調べ方～終わりまで 250～最後

教科書では生命を守るために自分達にできることを考える場面で最新の情報を知る必要性について述べている。動画を見ることで、ハザードマップや警戒レベル、気象や避難の情報の集め方を詳しく知ることができる。

中学全学年 (自然の恵みと気象災害・地震災害) 動画全体

この動画全体を通して、近年の大きな災害から災害の恐ろしさやその対策について学習できる。ただし、自然からの「災い」の内容が中心となっているため、活用の際には「恵み」の部分とのバランスを考慮した指導の必要性があると考えられる。

社会

小4 (風水害からくらしを守る) ハザードマップとその調べ方 250～626

教科書では各市町村が作成した「洪水ハザードマップ」について述べている。動画を見ることで、ハザードマップの詳しい見方を理解できるようになり、自分の地域のハザードマップを理解する力を身に付けることに有効である。

小5 (自然災害をふせぐ) 警戒レベル避難指示 627～714

この単元は、自然災害をふせぐために市や国が行う支援(活動)を学ぶ。動画を見ることで、国が出す災害の警戒レベルの警戒レベルをもとにした避難の目安等を詳しく理解することに有効である。

中1 (自然災害と防災の取組)

ハザードマップとその調べ方～終わりまで 250～最後

動画を見た後、実際に自分の地域のハザードマップを把握する活動につなげやすい。また、防災対策の具体として、マイタイムラインの作成に取り組みさせることで、より自分事化した防災対策につなげることに有効である。

5 その他 教科等横断的な視点

体育(保健)

小6 (けがの防止) マイタイムライン 830～最後

災害による被害を減らすためにマイタイムラインを作成して、危険の予測や回避の方法を考える。マイタイムラインの箇所を動画で確認し、必要な情報をいつ確認するのかを知ることに有効である。保護者と一緒に活動を行うことが望ましい。



学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

既存の防災啓発動画の授業での活用 視聴覚教材の活用例 ③

子ども向け動画

「洪水から身を守るには ～命を守るための3つのポイント～」



動画配信
国土交通省

「防災教育ポータル」から再生できます。

1 概要

ドラマ仕立てで大雨時の対応事例を紹介。前半の約6分は2人の子供が洪水の危険にさらされる。その後、洪水から命を守る3つのポイント「①どんな危険があるか調べておく」「②浸水する前に避難する」「③安全に逃げる方法を知っておく」を学んだ後、3つのポイントを押さえた洪水からの避難の仕方を紹介している。洪水災害の一部を知るといよりも、学んだことを総合的に活かして自分の身の守り方を考える場合等に活用するのが望ましい。

2 動画の構成



3 対象学年・単元

小4総合 防災マップ作り
小4社会 暮らしを守る

中1社会 自然災害と防災の取組
中学全学年理科 自然の恵みと気象災害・地震災害

4 具体的な活用場面

社会

小4 (暮らしを守る)

洪水の危険 1'58～5'50 ・ 洪水からの避難 18'00～22'37

「自分のくらしは自分で守る」では、普段からの備えとして食料の備蓄や家族で避難行動を話し合っておくことの重要性を学ぶ。前半の動画を見せ、「2人の行動には何が足りなかったのか」と投げかけることで、備えの重要性に気付かせることに有効である。足りない行動を理解したのち、後半の動画を見ることで命を守る3つのポイントの理解が更に深まると考えられる。

総合的な学習の時間

小4 (防災マップ作り)

洪水の危険 0'00～5'50

動画には、雨が降って冠水した際に、足元が見えなかったり、マンホールのふたが外れたりする危険などが映っている。地区の危険な箇所を地図に書き入れる活動の際、新たな危険に目を向けることにつながると思われる。

社会 中1 (自然災害と防災の取組)

理科 中学全学年 (自然の恵みと気象災害・地震災害)

洪水の危険 1'58～5'50 ・ 洪水からの避難 18'00～22'37

前半の動画から、洪水の際にどのような対策が取れるかを考えさせる活動を行う。また、後半の動画から、具体的な対応を確認し、更に自分ならどのような対策や行動が取れるかを考え、より深い学びにつながると思われる。

5 その他 教科等横断的な視点

学校行事 動画全体

集団下校訓練の際、洪水で冠水する場所や、マンホールの位置などの危険箇所を確認する。

家庭との連携 動画全体

保護者と一緒にこの動画を視聴し、災害時の対応について家族会議を実施する。その後、家族会議の内容を学級内で共有する。



動画を視聴した授業の様子
(岡山県北三好市立三好小学校)

学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

既存の防災啓発動画の授業での活用 視聴覚教材の活用例 ④

子ども向け動画

「水防団の神様 ～山からの知らせ～」



動画配信
国土交通省

[防災教育ポータル] から再生できます。



1 概要

土砂災害の種類や危険性、早めの避難のための情報収集や日頃の備えについて学ぶことができる。土砂災害の危険性を実際の映像や、土石流の速さを50m走で比較することで、イメージしやすいように構成されている。さらに、ハザードマップの活用方法についての説明もある。

2 動画の構成



3 対象学年・単元

小5社会 自然災害をふせぐ

中1社会 自然災害と防災の基礎

中学全学年理科 自然の恵みと気象災害・地震災害

4 具体的な活用場面

理科

小5 (自然災害をふせぐ) 動画全体

風水害への取組では、風水害がいつ起こるのか、被害を減らすために国や市町村がどのような取組を行っているのかを学ぶ。動画のすべてを見ることで、土砂災害の種類を映像で理解することができ、土砂災害の前触れ、土石流の速さを知ることができる。動画を観て早めの避難や情報収集の必要性を実感させることに有効である。

中学全学年 (自然の恵みと気象災害・地震災害) 動画全体

土砂災害の危険性及び早めの避難行動の重要性に触れている。そのため、土砂災害のメカニズムを地層や岩、地盤等との関連性を意識して、授業を展開するのに有効である。

社会

中1 (自然災害と防災の取組) 動画全体

土砂災害の危険性及び早めの避難行動の重要性に触れている。災害時の情報収集や日頃の備えについて考えさせることに有効である。さらに、地域のハザードマップを活用することで日分事として活動に取り組ませることが望ましい。

5 その他 教科等横断的な視点

数学

中2 (一次関数) 土石流の速さ 6'10～8'14

土石流から逃げる際の状況を、土石流と小学5年生の50m走のタイムを利用し、一次関数を用いて考えさせる。

学校行事 (土砂災害避難訓練) 動画全体

学校や学区で土砂災害が起こる危険がある場合、訓練で動画を活用したい。土砂災害の種類や前触れ、土石流の速さ、避難の方法、情報収集や日頃の備えを避難時で理解する。命を守る方法を知ることや、日頃から災害に備えておくことの重要性に気付かせることに有効である。

学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

新たに制作した動画の授業での活用
授業に役立つ防災教育3分動画集

動画-1

キーワード 東日本大震災 防災ヘリ「みちのく号」 道路啓蒙

東日本大震災における災害対応

1 概要

東日本大震災発生の国土交通省東北地方整備局における災害対応の概要を学ぶことができます。地震発生直後の防災ヘリの緊急発進や道路の閉鎖について説明をしています。また東北地方整備局HPに掲載されている津波にのまれた道路/バス・ローラーの映像もあります。



2 教員からの一言アドバイス

災害が起こった際、災害の初動として避難を確保したこと(くし)の動作や、震災の概要を知ることができます。小5社会「自然災害を防ぐ」では、国の防災、被災対策について学ぶ。具体的な災害発生時の公助の初動について理解を深める際の教材として活用もできます。



3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

本動画で取り上げたパネルを含む東日本大震災関連のパネルが掲載されています。



動画-2

キーワード 東日本大震災 伝承 排水 行方不明者捜索

東日本大震災の伝承

1 概要

国土交通省東北地方整備局の職員が、東日本大震災時の排水オペレーションの経験、当時そしてその後の思いについて語っています。全国から集結した排水ポンプ車等の災害対策用車両による日本で初めての津波排水オペレーションの様子や、警察・消防・自衛隊の行方不明者捜索との連携などについての職員の体験談を聞くことができます。



2 教員からの一言アドバイス

水害で浸水した水をどのように排水していたのか、その時の体験談から学ぶ。動画1と同様に、小5社会「自然災害を防ぐ」で活用可能です。国土交通省が災害発生後、どのような役割を果たしたかの事例から、災害対策における「公助」の役割を探究させるきっかけとして活用できます。



3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

震災伝承施設管理課による東北各県の震災伝承施設一覧です。



動画-3

キーワード 東日本大震災 国営追悼・祈念施設 石巻南浜

石巻南浜津波復興公園

1 概要

国営追悼・祈念施設である石巻南浜津波復興祈念公園において、公園のコンセプトや整備の状況、各施設の概要について学ぶことができます。



2 教員からの一言アドバイス

主に小5社会、小6総合的な学習の時間において、自分たちの町の未来を考える学習で活用できる。課題を考えさせる導入で視聴すると良いと思います。津波の脅威を実感させつつ、未来志向のまちづくりや伝承の新しい形にも着目した授業づくりができます。自分たちの町の共通点や相違点を話し合わせる活動や、遠足・修学旅行の事前学習にも有効です。



3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

南浜津波復興祈念公園の概要等が掲載されています。



動画-4

キーワード 東日本大震災 国営追悼・祈念施設 高田松原 陸前高田 伝承館

高田松原津波復興公園

1 概要

国営追悼・祈念施設である高田松原津波復興祈念公園において、公園のコンセプトや各施設の概要について学ぶことができます。また公園内にある4つの震災遺構や伝承館についても説明しています。



2 教員からの一言アドバイス

動画3と同様の活用が考えられます。国と県、市の公的機関による公園整備の経緯や、市民団体などの多様な関係者の想いを想像し、災害伝承の意義について考え、自分自身に何ができるかなどを考える学習の導入で提示すると有効です。被災地に実際に足を運んで、被災の現実に触れることの重要性や、伝え継ぐ活動をしている人たちの想いを想像する学習での活用が効果的です。遠足・修学旅行の事前学習にも有効です。



3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

高田松原復興祈念公園の概要等が掲載されています。



学習指導要領に対応したコンテンツ(活用例)

新たに制作した動画の授業での活用

授業に役立つ防災教育3分動画集

動画-5

キーワード

災害派遣

TEC-FORCE

平成30年7月豪雨

令和元年台風第19号

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活躍

1 概要

国土交通省TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の概要、派遣の様子および隊員の思いについて学ぶことができます。様々な災害における現場での災害派遣の様子を、実際にTEC-FORCE隊員として派遣された隊員が説明をしています。

2 教員からの一言アドバイス

災害が発生した際に派遣されるTEC-FORCE隊員の思いに触れ、災害対応に関わる職業の具体例を理解するのに効果的です。公民に関する分野などでも活用できます。

3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

TEC-FORCEの活動内容・活動状況等が掲載されています。



動画-7

キーワード

風水害

吉田川

決壊

盛岡

令和元年台風第19号

治水

風水害への備え ~吉田川の堤防決壊~

1 概要

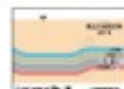
令和元年台風第19号によって堤防が決壊した宮城県を流れる吉田川の堤防破壊箇所において、当時の洪水の理由や、洪水リスクを少なくするための対策について説明しています。実際に堤防が決壊した様子を撮影した映像なども見ることができます。

2 教員からの一言アドバイス

宮城県大郷町の被害の事例から、治水対策、災害の恐ろしさと備える重要性も学ぶことができます。映像を通じて、ハード対策を含む公営の重要性と、その限界を知り、自ら情報を集め、災害に備えておく重要性を実感させるために効果的です。なお、水位を知るために川に見に行く必要があると誤解しないように、動画10とあわせて、川の水位情報をインターネット等で知る手段も授業で併せて提示すると良い。

3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

東北の自然災害2019において、当時の吉田川の水位や被害の状況が掲載されています。



動画-6

キーワード

水害

気候変動

平成30年7月豪雨

令和2年7月豪雨

流域治水

近年の水害の特徴 ~3つの水害を例として~

1 概要

増加する降水量・豪雨回数のデータを示しながら、近年の水害の特徴・気候変動による水害リスクに備えるための流域治水の取組について学ぶことができます。平成30年7月豪雨(西日本豪雨)、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨などの災害を例として説明しています。

2 教員からの一言アドバイス

近年、全国でどのような風水害が発生したかを解説した本動画は、小5理科「流れる水のはたらき」の単元における堤防の決壊による洪水被害の学習で提示するのも効果的です。気候変動を扱う単元とも関連づけられます。

3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

国土交通省の流域治水プロジェクトの概要が掲載されています。



動画-8

キーワード

土砂災害

令和元年台風第19号

丸森町

岩手県

土石流

河川環境

土砂災害への備え ~丸森町の台風被害~

1 概要

令和元年台風第19号によって被害を受けた宮城県丸森町において、当時の被害状況や土砂災害の危険・特徴などを説明しています。

2 教員からの一言アドバイス

令和元年東北日本台風における丸森町での被害の様子から、洪水及び土砂災害の脅威を視覚的に理解できます。土砂災害が起きた際の対応についての説明もあります。小5理科「流れる水のはたらき」では、流す水の量を減らすと「遅くさせたり遅くさせたり遅くさせたりする力が強くなる」ことを学びます。その学習の最後に、自然災害との関係から土砂災害の脅威や防災上の留意点などを臨場感をもって理解させるのに効果的です。

3 国土交通省東北地方整備局からの情報提供

国土交通省東北地方整備局による令和元年台風第19号への対応全般が掲載されています。吉田川や阿武隈川(丸森町付近を含む)について、ドローンで撮影した浸水状況も見ることができます。



1

「防災学習ポータルサイト」から教材等を探してみましょう！

- 災害部類や教科等、必要な情報の条件を選択することで絞り込んだ検索が可能
- また、詳細な条件では、地域やコンテンツの種類等での絞り込みも可能
- 災害動画のQRコードを作成して載せていただくことも可能



防災学習ポータルサイト

検索



URL: <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>

「防災学習ポータルサイト」を是非ご活用ください

- 国交省は、ダム・堤防・上下水道・砂防施設等、各種インフラ施設の整備により防災・減災に関わっており、災害に関する写真、動画等も多く所有している。

※「防災学習ポータルサイト」にも掲載（現在は水害関係300点だが、今後地震・津波・火山災害・雪害等、他の災害も追加予定）

- 現象や社会的役割への理解に加え、身の回りの災害リスクの確認（ハザードマップ等）やいつ・どのように・どこへ避難するか等、適切な避難行動に繋がる学習を支援するコンテンツとして、是非活用いただきたい。

（災害状況写真）



（防災教育に活用できるコンテンツ例）



小学生向け動画
「流れる水の働きと土地の変化」

○現象の理解の他、**川**の特性を捉えた上で、予測、判断、行動につなげることをねらいとした動画



マイ・タイムライン クイズ

○水害に備え、「いつ」、「どのような」行動をするのかを決めたマイ・タイムラインをクイズ形式で学ぶことができるコンテンツ

河川環境教育

～「川に学ぶ社会」をめざして～

小学校学習指導要領等の改訂について

- 平成29年度に小学校学習指導要領が改訂され、自然災害に関する内容が充実、河川教育に関する新単元が追加。(移行期間を経て、令和2年度から全面实施)
- 教育現場での実践に向けて、教員向けパンフレットやこども向け教材を作成するとともに、次の学習指導要領の改訂での更なる河川教育の充実に向けて取組を推進。

H29小学校学習指導要領等の改訂のポイント

◆ 自然災害に関する内容が充実(「 」書きは学習指導要領より抜粋)

(小学校社会)

- ・「地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害のなどの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げる」
- ・「県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信、避難体制の確保などの動き、自衛隊などの国の関係機関との関わりを取り上げること」
- ・「地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちに行うことなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること」

(小学校理科)

- ・「天気、川、土地などの指導にあたっては、災害に関する基礎的な理解が図られるようにすること」

◆ 河川教育に関連する単元の改訂

- ・ 小学校理科第4学年に新単元「雨水の行方と地面の様子」が追加

◆ 「主体的・対話的で深い学び」の実現やカリキュラム・マネジメントの確立

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現(アクティブラーニングの視点)や教科等横断的な学習の充実などが盛り込まれた。

RIVER SCHOOL

【教員向けパンフレット】(国土交通省作成)



水辺の安全ハンドブック

【水辺で活動する保護者・団体・学校関係者等向けハンドブック】 (河川財団作成)



○「生活科」や「理科」の体験的な学習活動の充実

○小学校「体育」5・6年では「けがの防止」において水の事故を扱う

- ・小学校学習指導要領解説 理科編では、「内容の取扱いについての配慮事項」で以下の事項が示されている。川での直接体験には安全が基本であることから、ライフジャケットの着用をはじめとした基本対策とあわせて実施する必要がある。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編

（3）体験的な学習活動の充実

生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにすること。

- ・小学校学習指導要領解説 体育編では、5・6年「けがの防止」において、「毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないこと」と解説されている。水の事故の発生状況や、溺水防止に効果的なライフジャケットの着用・天候や水位の確認等、安全についての基本事項を示すことも重要。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編

（2）けがの防止

(ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止
②毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないこと



河川環境教育・安全利用の取組

- 国土交通省では、「川に学ぶ社会」をめざし、自然の大切さ、生命の尊さ、私たちの生活との関わりなどを感じることができる、河川をフィールドや素材とした活動を推進。
- また、自由使用である河川の利用者が、安全に河川を利用出来るように、普及啓発・学習ツール等の作成・配布、出前講座や安全講習会の実施など水難事故防止の普及啓発に取り組んでいる。

普及啓発・学習ツール

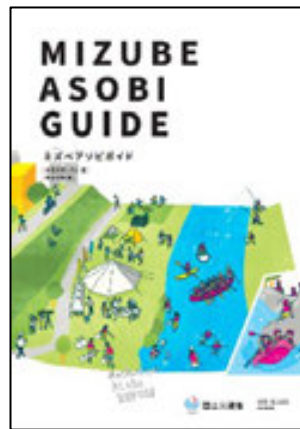
RIVER SCHOOL

【教員向けパンフレット】（国土交通省作成）



MIZBE ASOBI GUIDE

【保護者・教員向け冊子】（国土交通省作成）

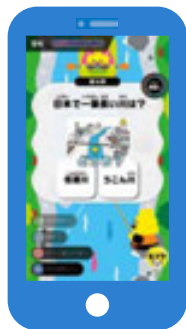


出前講座や安全講習会



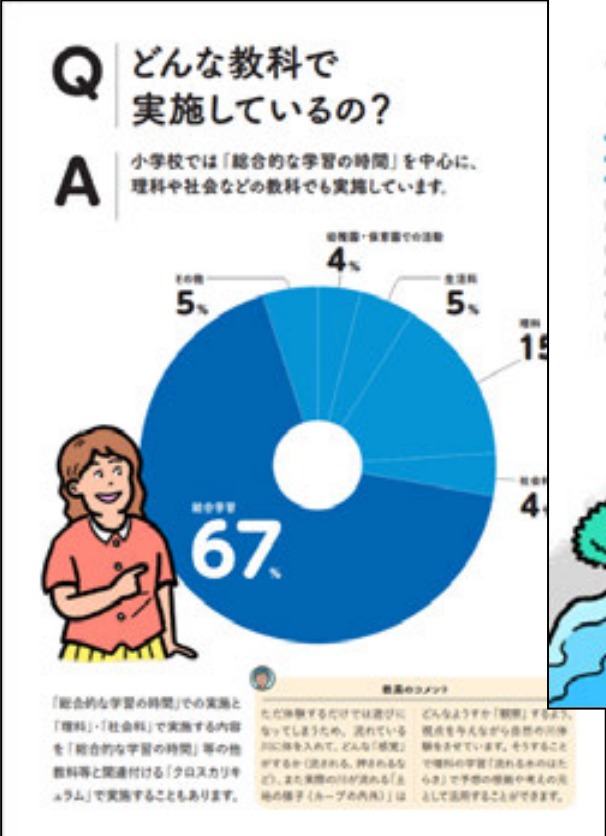
うんこドリル 川の安全【子ども向け学習冊子・アプリ】
（国土交通省、河川財団 監修、文響社発行）

リバーアドベンチャー～川に魅せられし者たち～
【子ども向けRPG風水難事故防止動画】
（国土交通省作成）



（WEBアプリ）





Q 川を「教室」にしている学校はどんなことをしているの？

A 「触れる」「調べる」「守る」活動をしています

調べる

- 環境調査活動（水質・流量・自然観察等）
- 生物調査活動（水生生物・魚類等）
- 歴史・文化調査活動 など

「調べる」では、中流という観点から水の清らかさを調べることで、多様な動植物などの生物とその生活・生育場所や行動など生きている生物について調べることを中心とした自然そのものを調べることで新たな知識や視点を獲得する活動や、川に関する様々な施設を活用し、その川の歴史や文化等を空間的・時間的観点でとらえる等の私たち人間社会と川の関わりについて調べる活動などがあります。

触れる

- 川に触れる活動
- ボート等の活動
- 川の流れを感じる活動 など

「触れる」では、水に触れるなどし、水の清らかさや心持よさ、水やその自然環境の美しさ等に気づく活動や川の流れの中に入るあるいはカヌーやボート等を用いることにより、水の流れのような感覚を実感することで、水には大きな力があることを経験として学習内容に親しみ活動などがあります。

守る

- 清掃活動
- 外来種駆除活動 など

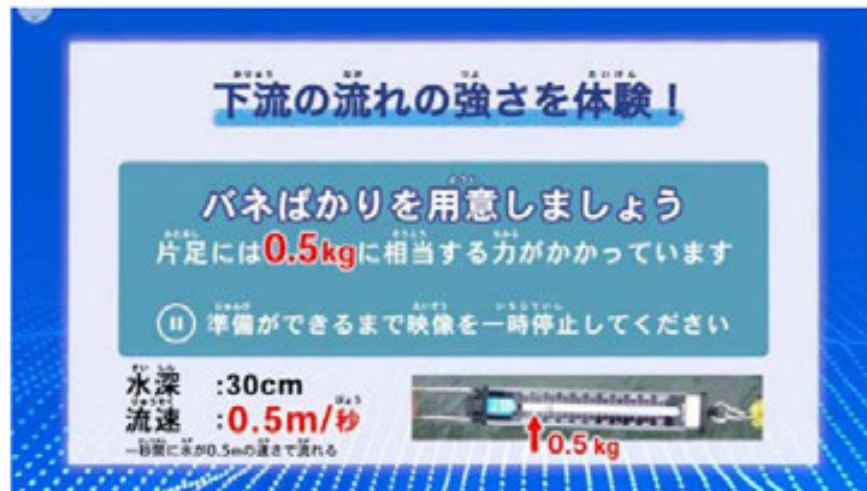
「守る」では、流れなどの自然由来あるいは川に流れ着くプラスチックなどの廃棄物や、外来の動植物を脅かすような侵略的外来種など、私たち人間の営みにより生じた様々な問題に対し、回収あるいは駆除を行い、その原因や解決策等について考える活動などがあります。

小学校5年理科 流れる水の働きと土地の変化

上流～下流の様子の違いを360度映像で体験して学習！



上流～下流の流れの強さを体験！





<https://www.kasen.or.jp/school/tabid240.html>



no more
水難事故
2022

水難事故の予防と対策

小学館

②No More 水難事故

河川等での水難事故の
統計に関する資料



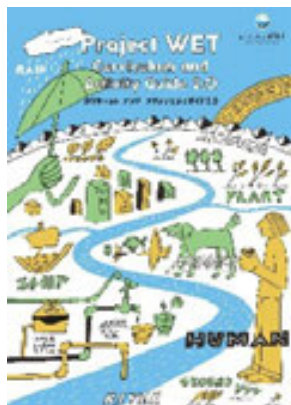
③**全国の
水難事故マップ**
水難事故の発生箇
所や状況をWEB
上に表示



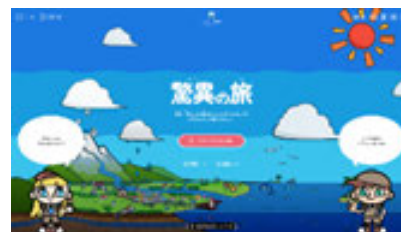
④川を活かした体験
学習プログラム
学校関係者向けの河
川体験プログラム集



⑤水教育ガイドライン
水教育の指針や体系化
した目標やカリキュラ
ムの事例等を掲載



⑥プロジェクトWET
世界75以上の国と地域で活用されている
アクティブ・ラーニング型の国際水教育プログラム



⑦e-Learningサイト
「水から学ぼう！」
水循環等のアクティビティをPCやタブレットで体験できる無料オンラインツール



⑧その他
川に関する民話や水
質に関する資料等





国土交通省では、楽しく、安全に、川あそびを！をテーマとして、川の魅力と準備すべき安全対策を紹介した「河川水難事故防止ポータルサイト」を公開しています。

■教職員向け授業教材

豊富な水辺の安全に関する授業をサポートするコンテンツ

楽しく、安全に、川あそび！
～ 川の魅力と準備すべき安全対策について ～

水辺の安全に関するコンテンツ検索

ピックアップ

ライフジャケット
川のレジャー活動

川で遊ぶ際の準備として、ライフジャケットを着用しよう
川遊びは楽しい場所ですが、リスキーな場所でもあります。安全対策として、ライフジャケットを着用することによって、川での水難事故のほとんどはライフジャケットを着用して防げることがあります。したがって、ライフジャケットは「川のレジャー活動」です。

くわしくみる

リバーアドベンチャー
川に遊ばれたい！
川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

川あそび
「川あそび」の楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

川あそび
「川あそび」の楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

水難事故 2023
水難事故防止に向けて、防災・意識と対策を伝えます。資料としてダウンロードできます。

水難事故マップ
川のリスクを把握して、危険な場所を特定し、対策を講じます。

MIZUBE ASORI GUIDE
水辺の楽しみ方や安全対策などについてまとめた入門ガイド。

川遊び安全ノート「えんじゅい・リバー」
楽しく川遊びするために、できることがわかる安全ノートについて紹介。

全てのコンテンツを見る

教職員向け | 防災者の活用や各地の取組事例

河川水難事故防止ポータルサイト

水辺の安全に関するコンテンツ検索 | 教職員向け授業教材 | 防災者の活用 | ライフジャケットを着よう

【防災関係の安全対策に】

リバーアドベンチャー
川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

WEB
「水難とカンリ」川で遊ぶときの安全対策について、川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

【授業に川を取り入れる】

RIVER SCHOOL
川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

小学校5年理科流れる水の働きと土地の変化
水辺の安全に関するアニメーション動画。川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

360度映像「小学校5年理科流れる水の働きと土地の変化」
360度映像で、川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

【体育の授業に】

水辺の安全学習アプリ
水辺の安全に関するアニメーション動画。川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。

e-Lifesaving
水辺の安全に関するアニメーション動画。川遊びの楽しさを伝えるアニメーション動画。川での自然体験活動の魅力や、準備的なリスキーなことの事前方法を伝えます。



令和6年度 国土地理院の取り組む教育支援説明会

土砂災害への対応

- ①土砂災害を引き起こす現象と災害事例
- ②土砂災害から命を守るために（ソフト対策・ハード対策）
- ③火山噴火による現象（土砂災害を引き起こすもの）

■土砂災害を引き起こす現象（土石流の事例）

1999年6月27日 長野県上松町の滑川で発生した土石流



- ・土石流は、巨石が先頭で流れてくることが多い。
- ・この事例では、直径約5mの巨石を先頭に、土石流が時速約30kmの速さで流れ下ってくる。



■土砂災害を引き起こす現象（土石流の事例）

2014年7月9日 長野県南木曽町の梨子沢で発生した土石流

土石流発生前
(2014年3月28日)

砂防設備

土石流を捕捉する砂防設備

w=61.0m

H=14.5m



巨石の大きさ
9.6m×4.3m×3.8m
83m³ 220t

土石流発生後（2014年7月12日）

この砂防設備が捕捉した土石流の量 約54,000m³

砂防設備



■土砂災害を引き起こす現象と災害事例

土石流

山腹、川底の石や土砂が、大雨などで一気に下流へ押し流されるもの。

(平成26年 広島県広島市安佐北区・安佐南区)



https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/h26dosha/150331_H26saigai.pdf

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、大雨などで急激に斜面が崩れ落ちるもの。

(令和4年 静岡県下田市敷根)



<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/r4dosha/r4doshasaigai.pdf>



地すべり

主に地下水の影響によって、斜面がある程度原型を保ったままゆっくりと下方に移動するもの。

(令和3年 長野県長野市篠ノ井)



<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/r3dosha/r3doshasaigai.pdf>

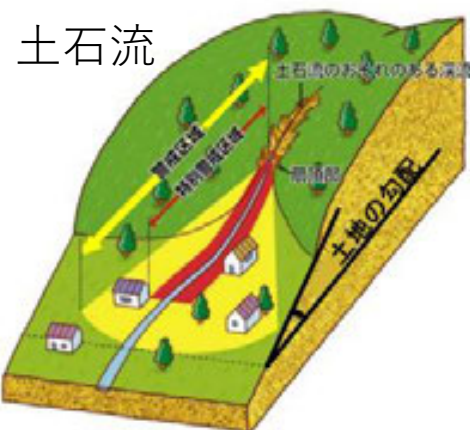


■土砂災害から命を守るために（ソフト対策）

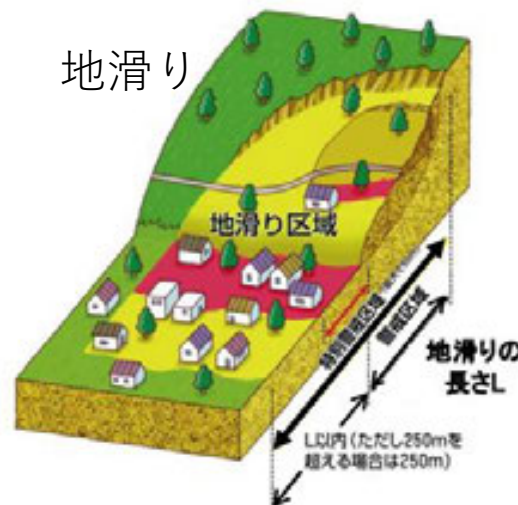
①土砂災害のおそれのある箇所（土砂災害警戒区域）を指定し、住宅等の新規立地抑制や警戒避難体制を整備



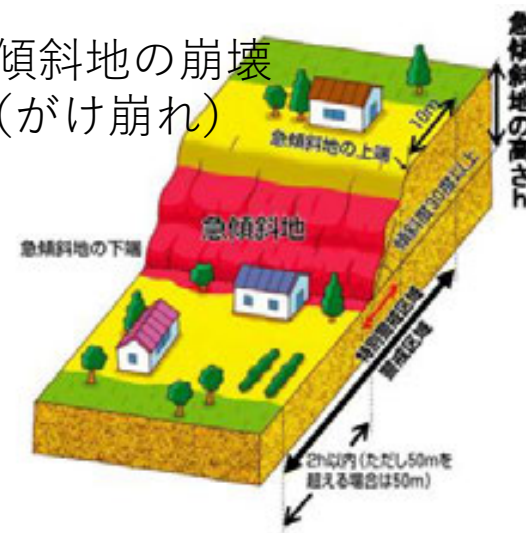
<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/sinpoupdf/gaiyou.pdf>



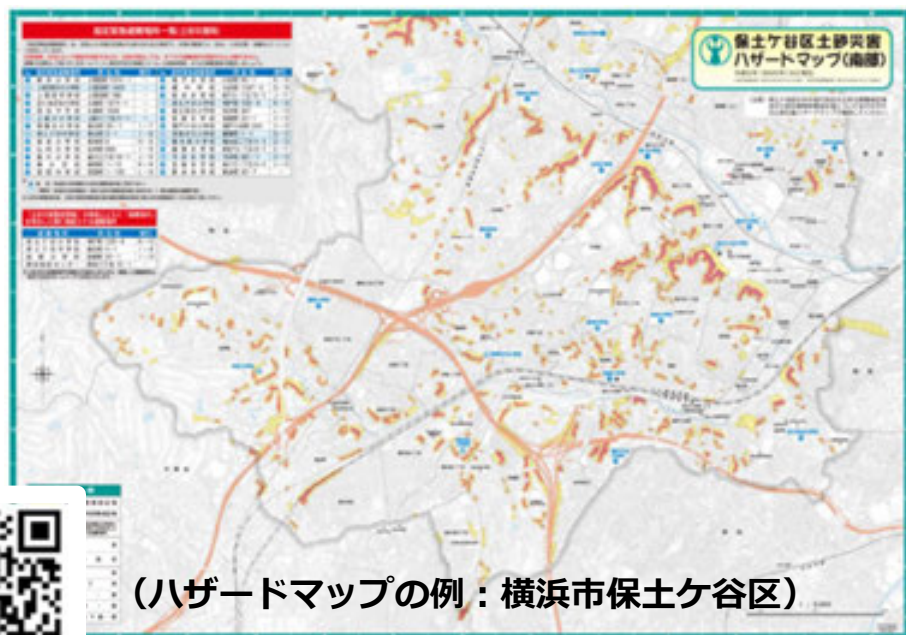
地滑り



急傾斜地の崩壊
(がけ崩れ)



②土砂災害ハザードマップを配布し、土砂災害警戒区域や避難に関する情報等を周知



(ハザードマップの例：横浜市保土ヶ谷区)

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

出典:横浜市ホームページ

③降雨により土砂災害の危険が高まった際に、土砂災害警戒情報を発表



<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/images/alertlevel202206.pdf>

警戒レベル		住民がとるべき行動		市町村の情報		気象庁等の情報		気象庁等が発する	
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難先が確保できず、命が危険にさらされ、いまだに避難先が確保できない場合は、避難先を確保する。	緊急安全確保 （命が危険にさらされる場合）	大雨 特別警報	災害切迫	災害発生情報	災害発生情報	災害発生情報	災害発生情報	
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞									
4	危険な場所から 全員避難 ・大雨により、土砂災害の危険が高まり、命が危険にさらされ、避難先が確保できない場合は、避難先を確保する。	避難指示	土砂災害 警戒情報	危険	危険	危険	危険	危険	
3	危険な場所から 高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人は、避難先が確保できず、命が危険にさらされ、避難先が確保できない場合は、避難先を確保する。	高齢者等避難	大雨警報・ 洪水警報	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	
2	自らの 避難行動を確認 ・大雨により、土砂災害の危険が高まり、命が危険にさらされ、避難先が確保できない場合は、避難先を確保する。		大雨注意報・ 洪水注意報	注意	注意	注意	注意	注意	
1	災害への心構えを 高める		早期避難情報 （警戒レベル1未満）						

出典：気象庁パンフ

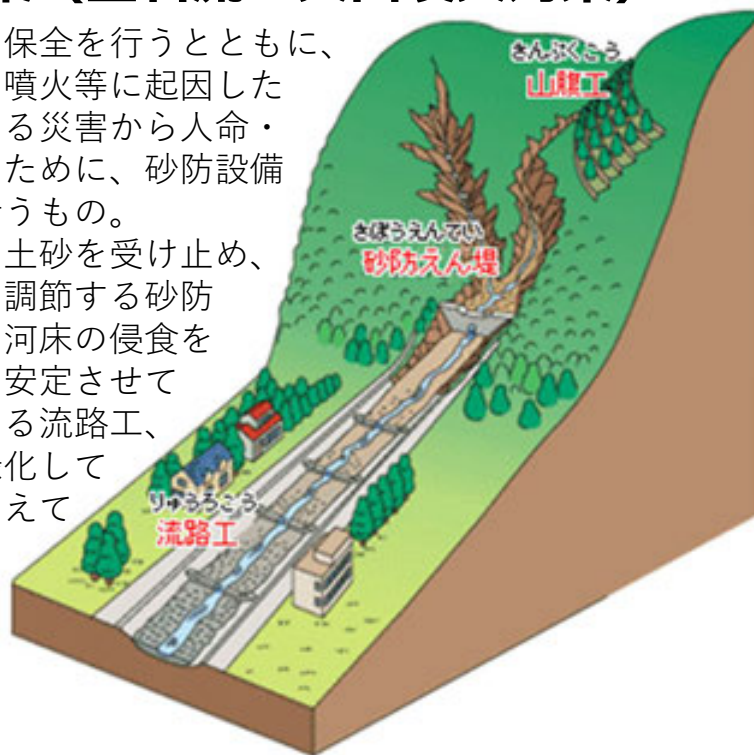
出典:気象庁パンフレット

■土砂災害から命を守るために（ハード対策）

①砂防事業（土石流・火山噴火対策）

荒廃地域の保全を行うとともに、土石流や火山噴火等に起因した土砂流出による災害から人命・財産等を守るために、砂防設備等の整備を行うもの。

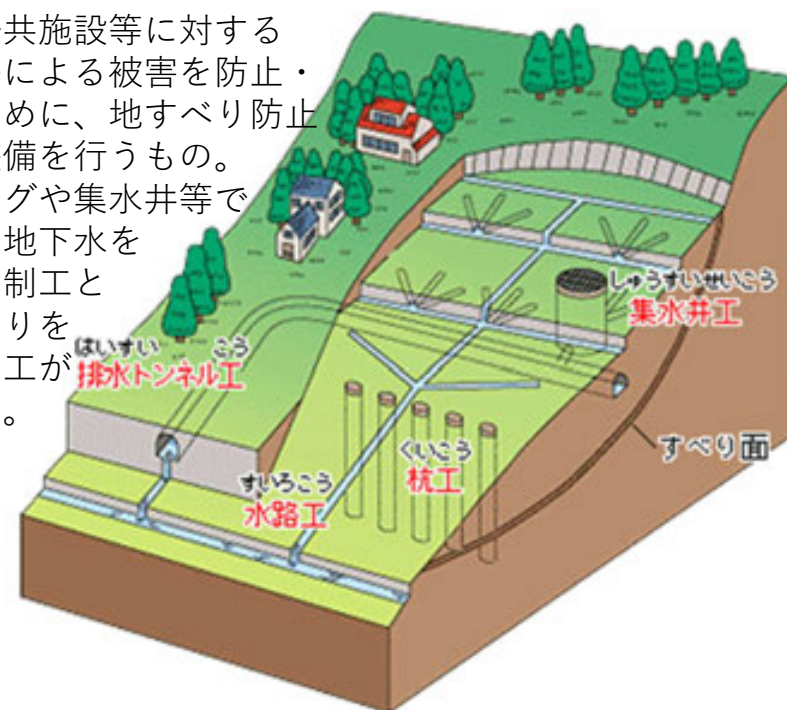
土石流等の土砂を受け止め、土砂の流出を調節する砂防堰堤、河岸・河床の侵食を抑制し河道を安定させて氾濫を防止する流路工、崩壊斜面を緑化して崩壊拡大を抑えて土砂の流出を防ぐ山腹工などが整備される。



②地すべり対策事業

人家、公共施設等に対する地すべり等による被害を防止・軽減するために、地すべり防止施設等の整備を行うもの。

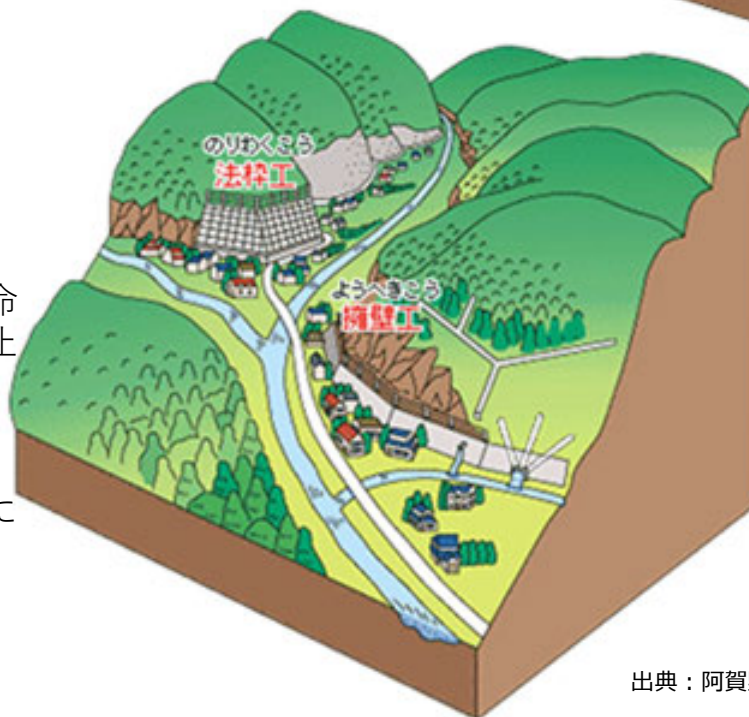
ボーリングや集水井等で原因となる地下水を排除する抑制工と杭等ですべりを止める抑止工が整備される。



③急傾斜地崩壊対策事業（がけ崩れ対策）

急傾斜地の崩壊による災害から人命を保護するために、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行うもの。

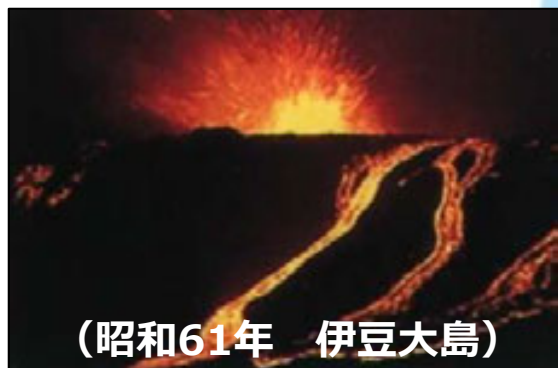
斜面崩壊を抑える擁壁工、コンクリート枠で斜面を抑える法枠工、崩れた土砂や落石を崩れ出ないようにする防護柵工などが整備される。



■火山噴火による現象（土砂災害を引き起こすもの）

溶岩流

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/volcanic_disaster.html



（昭和61年 伊豆大島）

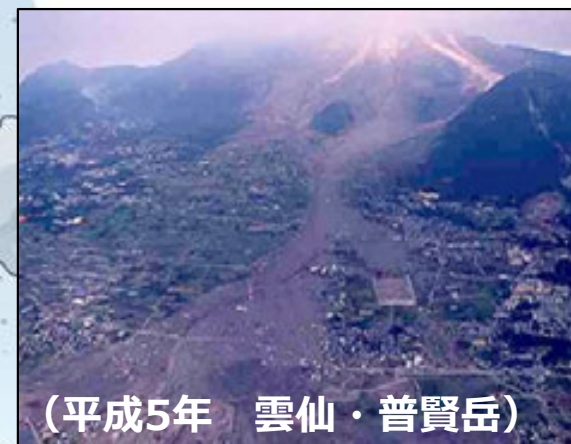
溶岩が斜面を流れ下る現象。
高温な溶岩に触れた木は燃え、沼地や川に溶岩が流れ込むと水蒸気爆発を起こす。比較的ゆっくり流れる。



出典：政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201502/1.html>

降灰後の土石流



（平成5年 雲仙・普賢岳）

http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai/index_c11.html

火山噴火後、火山灰の積もった地域では、通常より少ない降雨で土石流が発生する。噴火終息後も数年間は土石流の起きやすい状態が継続する。



火砕流



（平成3年 雲仙・普賢岳）

http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai/index_c11.html

噴火により噴出した岩石や破片上の物質と火山ガス等が混合して、斜面を流れ下る現象。
時速数百km、温度は数百℃に達することもあり、非常に危険である。

融雪型 火山泥流

積雪時期に、溶岩や火砕流の熱で雪が溶けて起きる泥流を融雪型火山泥流という。
土石流よりも速度が速く、積もった雪が一気に溶けて流れ下ることで、大量の泥流が発生して広範囲に被害をもたらす。



（大正15年 十勝岳）

出典：上富良野町郷土館
大正15年十勝岳大爆発記録写真集（1980）

■参考となる資料

- 「令和5年の土砂災害」には、災害事例、砂防設備等の効果、避難事例などを掲載しています。
- 土砂災害に関する防災教育の支援ツールとして、副読本を作成しています。



<https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/r5dosha/r5dosyasaigai.pdf>



<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/hukudokuhon.html>



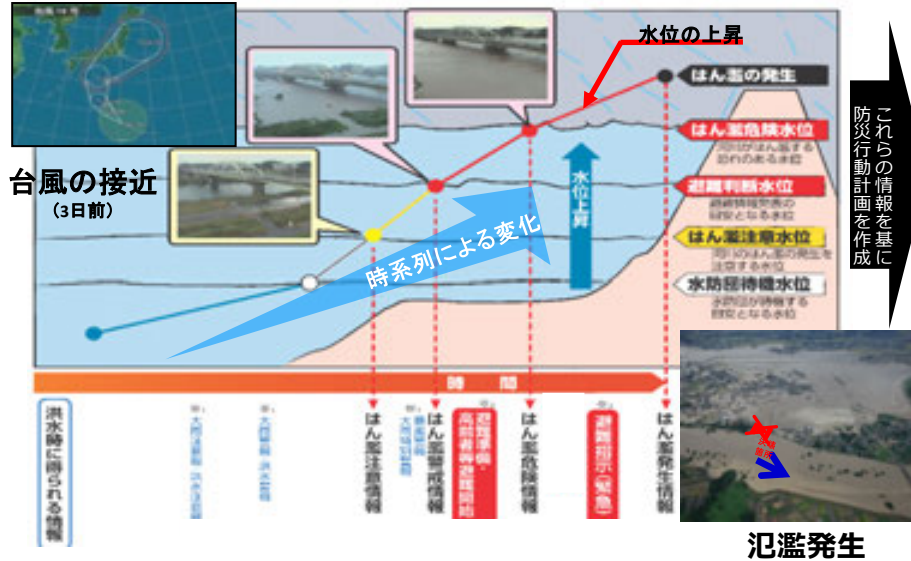
マイ・タイムラインの 普及に向けた取組

国土交通省 水管理・国土保全局
河川環境課 水防企画室

マイ・タイムライン

- マイ・タイムラインとは、ハザードマップで水害リスクを確認し、大雨の際に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画。

●河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



➡ マイ・タイムラインの検討の過程で…

「リスクを認識」

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い 等

「逃げるタイミングがわかる」

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて

逃げるには？

「コミュニケーションの輪が広がる」

- ・意見交換などで、知り合いになれる 等

➡ マイ・タイムラインができると…

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

●作成の状況 ※避難の実効性を高める「住民自らが手を動かす取組」が重要



●参加者の主な意見等 ※各地で取り組まれている事例からの抜粋

- ・避難するために、どのような情報が必要で何を基準にして避難するかが少し理解できました。
- ・避難先に関する選定が難しく感じた。
- ・情報入手と早く行動することや家族と話し合い自助・共助・公助等、勉強になりました。
- ・個人での対応にも限界があり、地区での共助もあらかじめ決めることも大事。

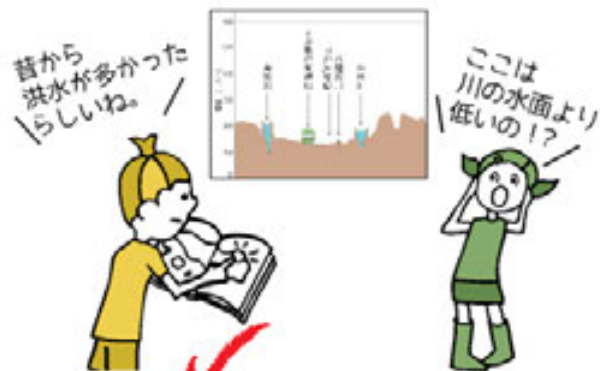
住民参加型の取組により、住民の「水防災意識の高揚」や「水防災知識の向上」、さらに「地域の絆の強化」に寄与

マイ・タイムラインの検討手順

Step1

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る



Step2

洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自分の行動を想定する



Step3

マイ・タイムラインを作成する

- ・自分自身のタイムラインをつくる

マイ・タイムライン(イメージ)

時間	国	市	住民等
3日前			テレビの天気予報を注意して見る。 ハザードマップで避難所を確認。 お荷物を出し入れを準備する。 足りないものを買いに行く。 川の水位をインターネットで確認
洪水予報			おじいちゃんと一緒に 早め避難開始
洪水発生			避難所に避難完了

どのタイミングで、何をしておくのね。考えておくのね。



❗ リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など

❗ いつ、どうやって逃げるかがわかる

- ・何を持っていく?
- ・いつ逃げる? 誰と逃げる?
- ・危険な場所をよけて逃げるには?

マイ・タイムラインをつかおう

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート



地域で作れば...

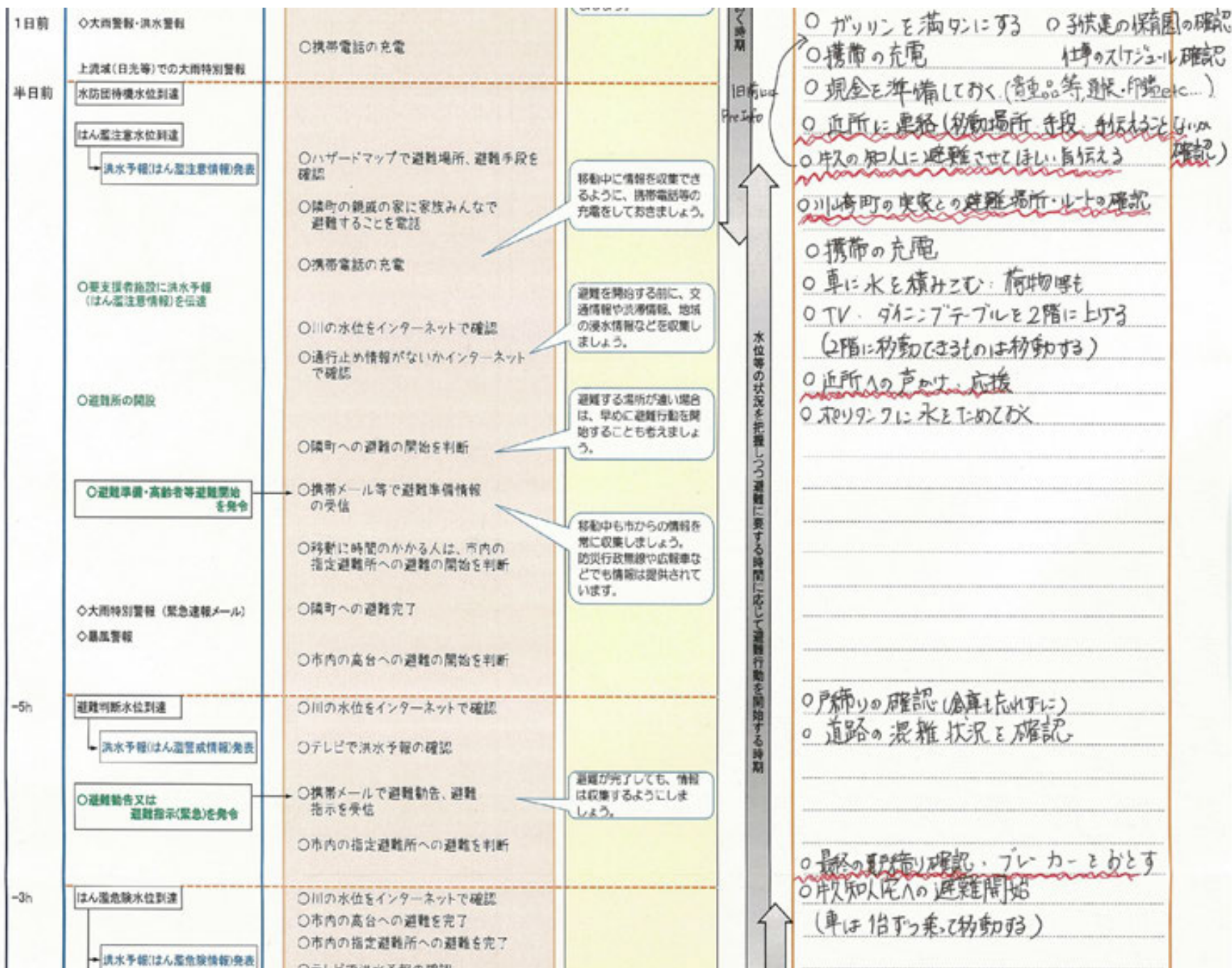
❗ コミュニケーションの輪が広がる

- ・意見交換することで知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、ふとくなる



実際に作られたマイ・タイムライン

[illegible][illegible]



マイ・タイムラインの取組事例

○ 国土交通省では、マイ・タイムラインの普及に向けて、手引きの作成や教材の提供のほか、マイ・タイムラインの講師の育成、自治体職員や地域住民を対象とした講習会の開催などを行っている。

■防災教育

地域と連携しながら、マイ・タイムラインの作成や防災教育を通じて防災意識の向上を促進



小学生を対象とした防災教育
(新潟県長岡市)



要配慮者のマイ・タイムライン
作成中の様子(岡山県倉敷市)

■ファシリテーターの育成

マイ・タイムラインを普及させるため、気象キャスター、防災士、消防団、水防団等に対して、ワークショップ等のファシリテーターを育成する講習会を開催



日本防災士機構・日本防災士会と
連携した研修会 R6.2.17



気象キャスターを対象とした講習会
(埼玉県春日部市) R6.5.11

【関東地方整備局】
オンラインによる作成講座の取り組み

コロナ禍におけるマイ・タイムライン作成講座
～YouTubeで生配信～

実施主体：下総河川事務所（施設課・小笠川流域防災対策協議会）
実施担当機関：下総河川事務所、外部講師（防災士会メンバー）
対象：誰でも自由参加
参加人数：当日視聴者数45名程度、視聴数160名程度

実施概要：
「マイ・タイムラインの編纂・普及活動の場内場外の一環として、高城（茨城県）出身でマイ・タイムラインインストラクターとして活動している防災士（あづみ）さんによるマイ・タイムライン作成講座を開催した。（R6.5.5）
新型コロナウイルス感染症対策として、対面方式ではなくYouTube生配信で開催し、どなたでも自由に参加できる形式とした。講座で使用する教材「逃げマップ」は事前に下総河川事務所ホームページからダウンロードしてもらった。

実施の様子：

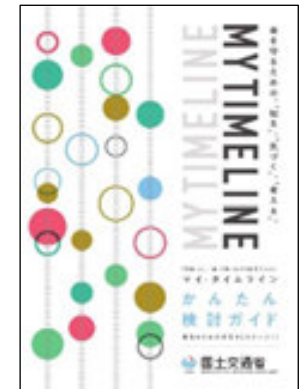
【進行シナリオ】
09:00 配信開始
09:10 09:15 マイ・タイムライン作成講座（外部講師）
09:20 09:25 水害知覚度（所長講話・下総河川）
09:30 09:40 チャットからの質問に
対する回答（所長講話・下総河川）
09:45 配信終了

期待される効果：
・YouTube生配信とすることで、遠隔地の県民方式で開催する際に参加できない方の参加を期待できる。あづみさんのようなインストラクターの育成を期待するなど、身近な情報を広めることで防災意識の向上が期待される。

事例のポイント：事前受付不要、自宅から視聴可能のため、気軽に参加できる。アーカイブ配信も行うことで後付でも視聴可能。

あづみさんによるマイ・タイムライン作成講座の様子

You Tube配信による
マイタイムライン作成講座
(関東地方整備局)



マイ・タイムライン
かんたん検討ガイド



逃げキッドとは・・・

- 簡単かつ短時間で小中学生でもマイ・タイムラインの骨格を学べるツール。
- 「逃げキッド」は、クイズの採用などにより、楽しく、簡単に、降雨による河川の水位上昇、氾濫発生までの刻々と変化する一連の状況を理解し、命を守るための準備や行動を考えことができるよう配慮。



はじめに確認しましょう！

- ① マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
- ② 「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！（資料①）
- ③ 「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！（資料②）
- ④ きみだけの「マイ・タイムライン」をつくってみよう！！（シール付き）
- ⑤ みんなでつくろう！マイ・タイムライン
～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
- ⑥ ご自宅に戻ったらみなおしてみよう

マイ・タイムライン作成支援 に関するお役立ちツール

【逃げキッド使い方動画】

逃げキッドを使ってマイ・タイムラインの骨格を手軽に作ることができます。
逃げキッドの使い方については、動画で紹介しています。

研修会等でご利用ください



■ YouTube(字幕入り)

- Part1 「逃げキッド」ってなあに？
- Part2 リスクを知ろう
- Part3 タイムラインの考え方を知ろう(1)
- Part4 タイムラインの考え方を知ろう(2)
- Part5 マイ・タイムラインを作ろう、使おう

マイ・タイムライン作成支援 に関するお役立ちツール

【マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド】

この資料で伝えたい
ねらいを表示

説明する際のシナリオ例
を掲載
※講座時間45分を想定
した基本的なシナリオ例

講座をより良くするための
話し方の工夫などを掲載
説明する際のシナリオ例
の解説を記載

マイ・タイムラインリー
ダーとして知っておい
て欲しい知識を掲載

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

■このページでのねらい
マイ・タイムラインに興味を持ってもらう。
マイ・タイムラインの概要や必要性を理解してもらう。



逃げキッドの表紙を見て下さい。
マイ・タイムラインがないときは、避難勧告が発表されてから慌てて避難の準備をするため、「何を持って逃げればよいのか」「どこに避難したらよいのか」がわからず、逃げ遅れてしまいます。しかし、マイ・タイムラインがあれば、避難準備の確認、非常持ち出し品をチェックし、お風呂の排水収集をすることで、避難勧告が発表されても慌てることなく、安全な避難場所へ逃げる事ができます。

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

■説明する際のシナリオ（例）
今日は、台風や洪水が来たときに慌てずに行動するために、一緒に「マイ・タイムライン」を作っていきたいと思っています。

マイ・タイムラインというのは、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、洪水時に、「いつ」「誰が」「何を」するのかをあらかじめの時間内に整理した自分自身の防災行動計画のことです。

皆さんの手元に配っている封筒は「逃げキッド」といって、マイ・タイムラインを楽しく・簡単に作ることが出来る道具になります。

逃げキッドの封筒の表紙を見て下さい。
マイ・タイムラインがないときは、避難勧告が発表されてから慌てて避難の準備をするため、「何を持って逃げればよいのか」「どこに避難したらよいのか」がわからず、逃げ遅れてしまいます。しかし、マイ・タイムラインがあれば、避難準備の確認、非常持ち出し品をチェックし、お風呂の排水収集をすることで、避難勧告が発表されても慌てることなく、安全な避難場所へ逃げる事ができます。

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

話し方の工夫

- 自分事として覚えてもらうため、「知っていますか？」など、参加者への投げかけが有効です。
- 多くの人は、防災講座は難しい、楽しくないというイメージを持っています。興味を引く話し方の工夫をしましょう。
- 例！ ○〇市では皆さんが初めて！
テレビでも全国放送された。
1万人以上が作っている。

解説

- 家族構成をとっても、単身者、高齢者のいる世帯、乳幼児がいる世帯などさまざまです。
- 例えば、足の悪いおじいちゃんがいるお家では、避難に時間がかかってしまうため、早く避難することを検討した方が良さそうです。
- 生活環境も、職業、日々の生活スタイル、必需品などさまざまです。このように、一人ひとりやらないといけないことが違ってきます。安全に避難するため、一人ひとり考えて、作成するものが、マイ・タイムラインです。

講座の工夫

- 避難環境があり、時間がとれる場合には、マイ・タイムラインの概要を説明した動画「マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ～洪水から自分の逃げ方を考えよう～」を放映することも効果的です。
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/shinadate/shinadate00023.html>)

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

逃げキッドから話

逃げキッドという名前って
どうやってきたの？

逃げキッドは、3つの思いが込められているよ。
①防災一式（キッド）の活用
②子供（キッド）にも楽しんで防災を学んでもらいたい・気持ちを込めて
③「逃げきるぞ！」と鬼怒川・小沢川地域の方言で呼ぶと・・・

逃げきど！！！！

他にも楽しんで防災を学んでもらう工夫が
されているよ！この封筒の裏を見たことない？

コンビニのサキンのいれものに似ているね～

その通り～サキンを開ける時のワクワク感を
もって防災教育を行ってもらいたいという気持ち
を込めたんだよ。

何が入っているか、気になっちゃって悪い～
を開けちゃったよ！！

開けてみておいて、上に開くように
開けるといいよ。

逃げキッド～マイ・タイムライン検討ツール～

使用する逃げキッド
の資料を表示

マイ・タイムライン作成支援 に関するお役立ちツール

マイ・タイムライン
かんたん検討ガイド



マイ・タイムライン検討のための
ワークショップの進め方



マイ・タイムライン
ガイド



マイ・タイムライン作成支援 に関するお役立ちツール

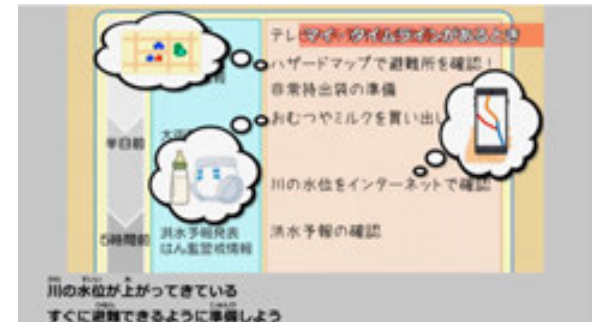
○マイ・タイムライン ～災害時にとるべき行動計画～

(<https://youtu.be/IXZcMe7TgYk>)



○マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ ～洪水からの自分の避難を考えよう～

(<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00624.html>)



出典：MLIT channel（国土交通省公式YouTubeチャンネル）

マイ・タイムライン、ハザードマップ アピール動画

○マイ・タイムラインアピール動画 「マイ・タイムライン劇場」

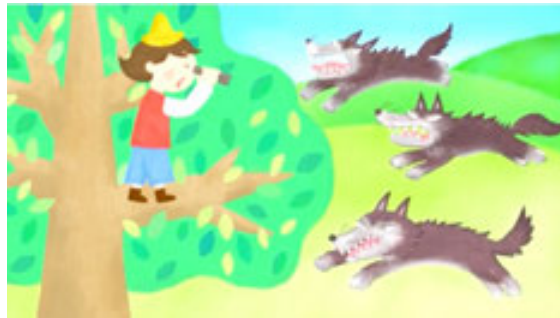
・あかずきんちゃん

(<https://youtu.be/zH3VpG9R6ys>)



・オオカミ少年

(https://youtu.be/cA3_nzV05BA)



・浦島太郎

(<https://youtu.be/FUUyiplOmT4>)



○ハザードマップアピール動画 「きみの街にひそんでいる！ 気をつけ妖怪図鑑」

・小学生編

(<https://youtu.be/SHwhbjr7eU>)



・若年層編

(<https://youtu.be/LtE8F-B7RDM>)



きみの街にひそんでる！
気をつけ妖怪図鑑
き よう かい まっぶ

～ハザードマップの情報をキャラクターで紹介～



ちゃぷん小僧
浸水深(50cm未満)



びつやり親方
浸水深(50cm～3m未満)



どっぽん入道
浸水深(3m～5m未満)



げきりゅう大王
浸水深(5m以上)



はんらんぼう
早期の立退き避難が必要な区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)



みずあつめ
避難経路に関する事項
(アンダーパス)



ひっぱりだこ
避難経路に関する事項
(用水路)



(国土交通省Youtubeチャンネル)

きみの街にひそんでる！ 気をつけ妖怪図鑑

き よう かい まっぶ

～ハザードマップの情報をキャラクターで紹介～

【妖怪キャラクターの概要】

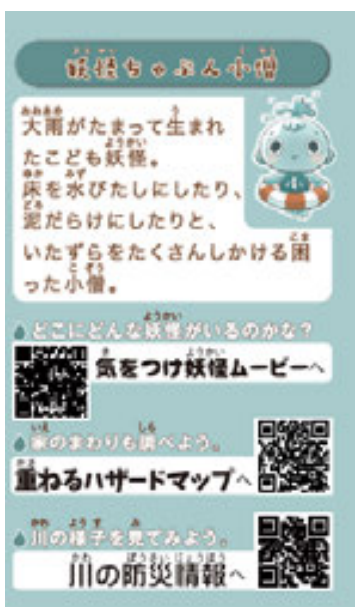
ハザードマップや浸水想定区域図、「重ねるハザードマップ」などで自分の家等の浸水深を調べてもらい、水害リスクに応じて該当する「妖怪カード」を配布することで自分の住む場所の水害リスクを記憶にとどめるとともに災害を「自分事化」する。

「妖怪カード」については研修会、防災教育等でご利用ください。

オモテ



ウラ



【使用方法】

- ①自分の家等をハザードマップで確認する。
- ②該当の場所の浸水深等を確認し、該当の妖怪カードを配布。
- ③浸水しない場合も周辺の状況を確認し、妖怪カードを配布。

【入手方法】

「妖怪カード」は国土交通省の「マイ・タイムライン」紹介ページにて資料を公開中。名刺カードへ印刷することで使用可能。



（国土交通省 マイ・タイムライン紹介ページ）

令和6年度「国土地理院の取り組む教育支援説明会」

流域治水の取り組みについて

～水災害を自分事化し、流域治水に取り組む 主体を増やす総力戦の流域治水をめざして～

水管理・国土保全局
河川計画課・治水課
令和6年7月31日

みんなを襲う水災害

令和3年までの10年間、1回も水害、土砂災害が発生しなかった市町村は、わずか41。水災害は国民全員に関係し、これからリスクがますます高まろうとしている中、産官学民が協働して「流域治水」を推進し、社会の安全度を高めていくことが重要に。



行政の取組だけでなく、企業・団体、個人に流域治水の理解、浸透を図り主体的な行動を促していくことが重要。

10年間で、水害・土砂災害が1回以上発生した市町村の数

1700 (全市町村数：1741)

発生件数	市町村数	全国の市町村における 10年間の水害、土砂災害 の発生件数（平成24年～ 令和3年）
■ 10回以上	： 887	出典：水害統計（国土交通省）
■ 5-9回	： 480	
■ 1-4回	： 333	
□ 0回	： 41	

気候変動により、これから洪水発生が増えることが懸念されている。

表：降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇時	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
4℃上昇時	約1.3倍	約1.4倍	約4倍

流域治水とは

河川区域だけでなく、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる地域において、あらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。

- 川を流れる水の源は、川の上に降った雨だけではありません。
- 大地に降った雨も、地表を流れたり地中に染みこみながら、川に流れ込みます。この雨が川に入ってくる範囲を「流域」と呼びます。
- これまでの治水対策は河川管理者による河川区域等の整備が主体でした。
- しかし、昨今の気候変動による水災害リスクの増加によって、これまでの河川整備等の治水対策だけでは流域を洪水から守り切ることができません。
- だからこそ、これからの治水対策は河川だけではなく私たちが生活する大地にも目を向け、流域に関わるあらゆる関係者（国・県・市町村・企業・住民等）が協働して対策を進めていく必要があります。それが「流域治水」です。
- 例えば、各家庭で雨水を貯める施設を設置したり、水害時の自身の防災行動を整理したマイタイムラインを作成したり、一人一人の行動が流域治水の推進につながります。

流域治水のイメージ図

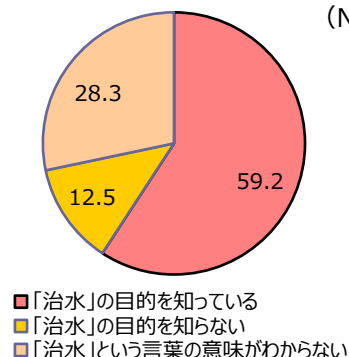


DATA：水災害対策に関する認識（アンケート結果）

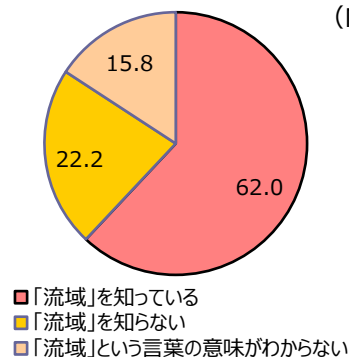
※水害リスクについては知っており対策が重要と認識

Q1. 「治水」の目的を知っていますか

(N=600)

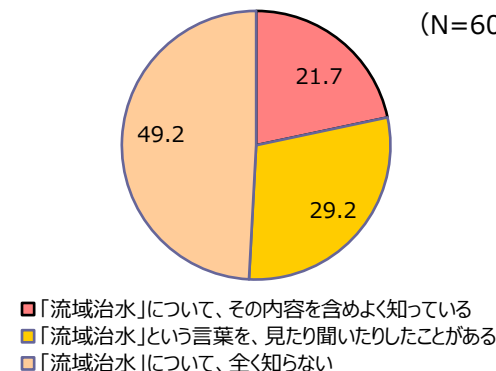
Q2. 住まいの地域は、どの河川の「流域」にあたるか
知っていますか

(N=600)



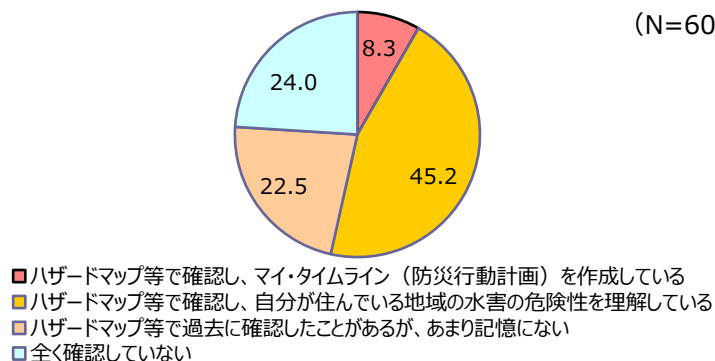
Q3. 「流域治水」について知っていましたか

(N=600)

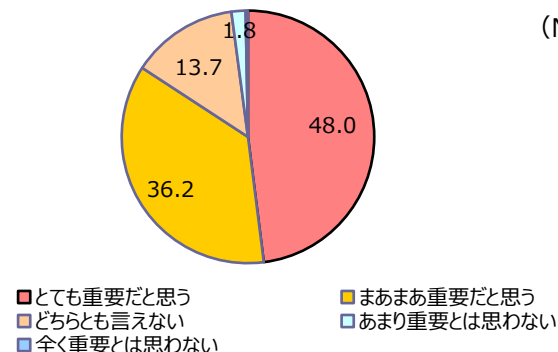


Q4. お住まいの地域の「水害リスク」を確認したことがありますか

(N=600)

Q5. 豪雨や河川氾濫等に対する「水害対策」について、
どの程度重要だと思いますか

(N=600)



人々の関心の高まり — 変わる意識 —

関心の高まりを実際の取組へ！

個人の風水害、防災に対する関心は近年高まり、企業のBCP策定も進んできている。この関心の高まりを実際の取組につなげ、流域治水の実効性を高めていくことが必要。

DATA：個人の水災害への意識の高まり

個人

表：風水害に備えての対策

質問内容	2009年	2022年
台風情報や大雨情報を意識的に収集するようにしている	39.9%	77.2%
食料・飲料水、日用品、医薬品などを準備している	27.3%	40.9%
近くの学校や公民館などの避難場所・避難経路を決めている	26.9%	35.0%
浸水しやすい地域など、危険な場所を確認している	13.9%	29.8%
特に対策は取っていない	25.3%	9.5%

n（2022年）＝1791 2009年は個別面接聴取。2022年は郵送による回答。

DATA：個人の防災意識の高まり

個人

表：自然災害への対処などを家族や身近な人と話し合ったことの有無

調査年	はいと答えた人の割合
2002	34.9%
2013	62.8%
2017	57.8%
2022	61.4%

n（2022年）＝1791

2017年までは個別面接聴取。

2022年は郵送による回答。

出典：内閣府「防災に関する世論調査」（令和4年9月）

※各年で調査方法が異なるため単純な比較はしない注がつけられている

DATA：企業のBCP策定率

企業・団体

表：「BCP策定済」と回答した割合

調査年度	大企業	中堅企業
2009	27.6%	12.6%
2011	45.8%	20.8%
2013	53.6%	25.3%
2017	64.0%	31.8%
2021	70.8%	40.2%
2023	76.4%	45.5%

「策定中」と回答した率を合わせた場合（2023年）

大企業：約86%

中堅企業：約58%

※大企業＝資本金10億円以上

出典：内閣府「企業の事業継続及び防災に関する実態調査結果」（令和6年3月）

- ✓ 住民や民間企業等のあらゆる関係者が、流域治水の取組を持続的・効果的に進めるための普及施策について検討するため、様々な専門分野の有識者による検討会を令和5年4月に設置し議論
- ✓ 同年8月に流域治水の推進に向けた普及施策の体系化と行動計画を策定

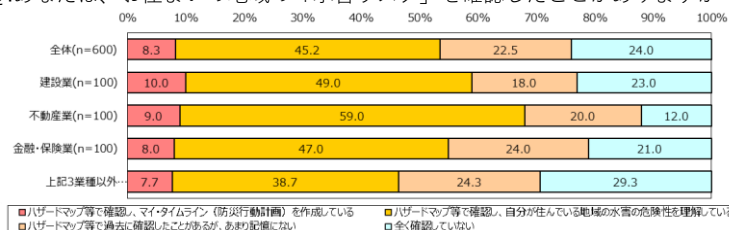
現状・課題

【検討会アドレス】 https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/suigairisk2/index.html

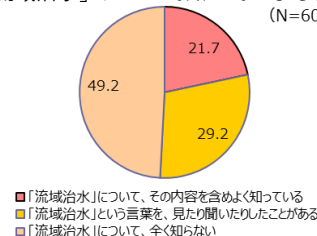
- ✓ 水災害対策に関するアンケート調査によれば、「流域治水」について内容を含めよく知っているとは、2割程度。また、7割以上がハザードマップ等により水害リスクを確認しているものの、マイ・タイムラインの作成は、1割弱。

⇒水災害リスクを確認している人は多いが、実際の行動に結びついていない現状。

Q.あなたは、お住まいの地域の「水害リスク」を確認したことがありますか



Q.「流域治水」について知っていましたか (N=600)



水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす
流域治水の自分事化検討会

《委員》

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 伊東 香織 | 岡山県 倉敷市長 |
| 今若 靖男 | 全国地方新聞社連合会 会長
(山陰中央新報社 取締役東京支社長) |
| 加藤 孝明 | 東京大学生産技術研究所 教授 |
| 小池 俊雄 | 国立研究開発法人
土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長 |
| 河野 まゆ子 | 株式会社 JTB 総合研究所 執行役員 地域交流共創部長 |
| 指出 一正 | 株式会社 sotokoto online 代表取締役 |
| 佐藤 健司 | 東京海上日動火災保険株式会社 公務開発部 次長 |
| 佐藤 翔輔 | 東北大学災害科学国際研究所 准教授 |
| 下道 衛 | 野村不動産投資顧問株式会社 執行役員 運用企画部長 |
| 知花 武佳 | 政策研究大学院大学 教授 |
| 中村 公人 | 京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻 教授 |
| 松本 真由美 | 東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 客員准教授 |
| 矢守 克也 | 京都大学防災研究所 教授 |
| 吉田 丈人 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 |



第1回検討会の様子（会場参加）

方向性

- ✓ 水災害の意識の高まりを実際の行動につなげていく「自分事化」を推進。認知と行動のギャップを埋めていく。



⇒自分事化の機会創出に向けた、自発的な取組を促す施策（行政からの働きかけ）を検討

第1回：令和5年4月28日（金）10時-12時

- ・流域治水の自分事化に向けた論点整理、取組事例の紹介、今後の進め方について

第2回：令和5年5月25日（木）13時-15時

- ・委員からの取組事例紹介、とりまとめ骨子（施策の体系化、行動計画、新規施策）

第3回：令和5年6月19日（月）15時-17時

- ・とりまとめ案（施策の体系化、行動計画、新規施策）

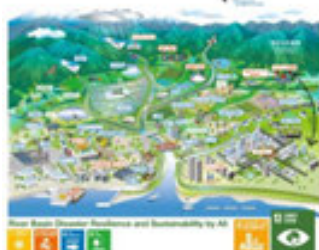
※社会がスローダウンすると自分事と感じる。
(計画遅延、休業、道路の通行止めなど)

1. 背景（流域治水の推進）

by ALL の流域治水

2℃の気温上昇時、洪水ピーク流量は2割増(4℃上昇時4割増)。河川区域の対策だけでは対応できない。

流域のみんなで、自然、産業を含め文化として治水に取り組む。



◎持続的に開発しつつも社会的機能を維持しながら災害に備える二刀流方式

◎人と人、自然と人、自然と自然のつながり

◎流域を俯瞰した取り組み(山川海全部含めて流域治水)

気候変動緩和の取り組みも流域治水

2. 課題

水災害リスクの自分事化

住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え主体的に行動する。

流域全体の水災害への取り組みへ

水災害から自身を守ることからさらに視野を広げて、地域、流域の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。
※流域治水に取り組む主体を増やす(自分のためにから、みんなのために)



流域治水を推進する上で、自分事と捉えることが課題

3. 流域治水に取り組む主体を増やすための取組方針

大局的には①知る→②捉える(自分事と捉える)→③行動の流れを作り、取り組みの幅を広げ、トップランナー育成や要件化・基準化等を通して流域にも視野を広げていく。

取り組みの例

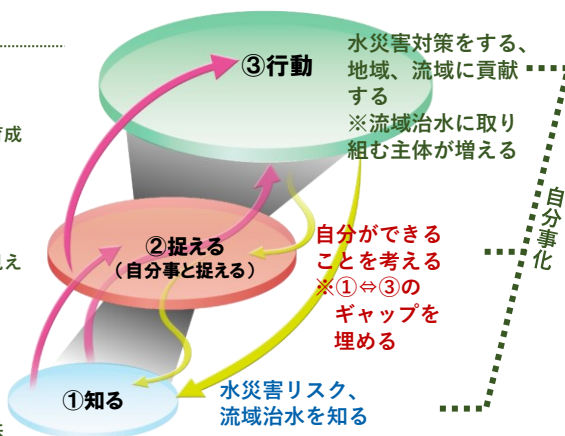
・要件化・基準化

・トップランナーの育成
・流域治水への貢献
・ビジネスへの支援

・流域対策への支援
・取り組み、効果の見え
る化

・連携活動
・教育活動

・流域治水の広報
・リスク情報等の提供



意識の醸成を図り、国民運動、日本の文化に

日々の生活の中で水害、防災のことが意識され、全国的に水災害リスクの自分事化が図られ、その視野が流域に広がり、社会全体が防災減災の質を高めるとともに、持続的に発展していく。

4. 施策を進めていく上での着眼点と具体策

○ 具体施策

(1) 知っている人を増やすことと伝え方の工夫

- ◎気象条件を伝えるなど他人事化できない状況を定着
- ◎取り組みを促す相手の特性に応じて伝え方を工夫
- ◎インフラツーリズムとの連携など、知る機会を増やす
- ※ネガティブなことをおしやれに、楽しいことを伝える。住民自らのモニタリング

地域 個人 企業・団体

- ◎流域治水ロゴマーク、ポスター
- ◎流域治水の日、週間
- ◎河川空間の利活用を通じた意識醸成
- ◎SNS等での情報発信
- ◎インフラツーリズムとの連携
- ◎ダイナミックSABO ○はまツーリズム推進
- ◎危機管理水位計、簡易カメラ、浸水センサー等の拡充・閲覧周知

(2) 自分事化の機会創出と手段

- ◎防災教育(住民自ら記憶を伝える、行動を学ぶ)
- ◎水害伝承(記憶の風化を防ぎ教訓を伝える)
- ◎学べるコンテンツ(ウェブ、既存メディア活用)

地域 個人

◎防災教育の推進(既存施策)

地域 企業・団体

- ◎地域に貢献する水防活動への参画
- ◎流域治水オフィシャルサポーター制度
- ◎防災・減災ビジネスの推進(オープンデータ活用)

地域 企業・団体

◎デジタルテストベッド

- ◎補助金、税制優遇等の支援
- ◎防災関連ビジネスの推進、取り組みのアピール
- ◎社会を良くしたいという動機、SDGs

(3) 自分事化を促す相手の把握と絞り込み(発信側と受け手側の例)

- ◎キーパーソンのタイプ(盛り上げ、自然環境、研究開発、危機意識)+河川ごとの特徴
- ◎リーダーの育成(防災士、気象予報士等との連携等)
- ◎インフルエンサー活用

- ◎防災教育に取り組む子供と家族
- ◎高齢者、災害弱者、若年層
- ◎リソースが不足している企業、建設分野他企業
- ◎地域のコミュニティ
- ◎金融関係機関

(4) 主体的な取り組みが進むための環境整備

地域 個人 企業・団体

◎共有プラットフォーム(全国流域治水MAP)

1) 取り組みを実行する仕組みづくり

- ◎きっかけは様々(河川の利用や生態系保全の取り組みから始めることも)
- ◎課題の把握、取組事例の共有と分析、人と人をつなぐ仕組みの構築

2) 社会のモードチェンジ

- ◎ポジティブな情動、同調圧力も ◎国からの情報発信による環境整備から

(5) 持続的に流域治水を推進

地域 個人 企業・団体

- ◎トップランナーの育成
- ◎防災教育を通じて流域に視野を広げる
- ◎農業・農村地域での取り組み(水を貯めることに対する農家と水管理組織の合意形成、防災対策と農村コミュニティ機能の相互依存的発展)

※各水系の流域治水プロジェクト等への反映とフォローアップ

- ◎表彰制度(流域治水大賞)
- ◎円滑な避難を支援する人材育成(ファシリテーター派遣の仕組み)
- ◎気候変動リスク開示における民間企業の取り組みの支援(TCFD)
- ◎防災教育に関する素材提供
- ◎水害伝承に関する情報(コンテンツ)の普及・拡大

施策体系

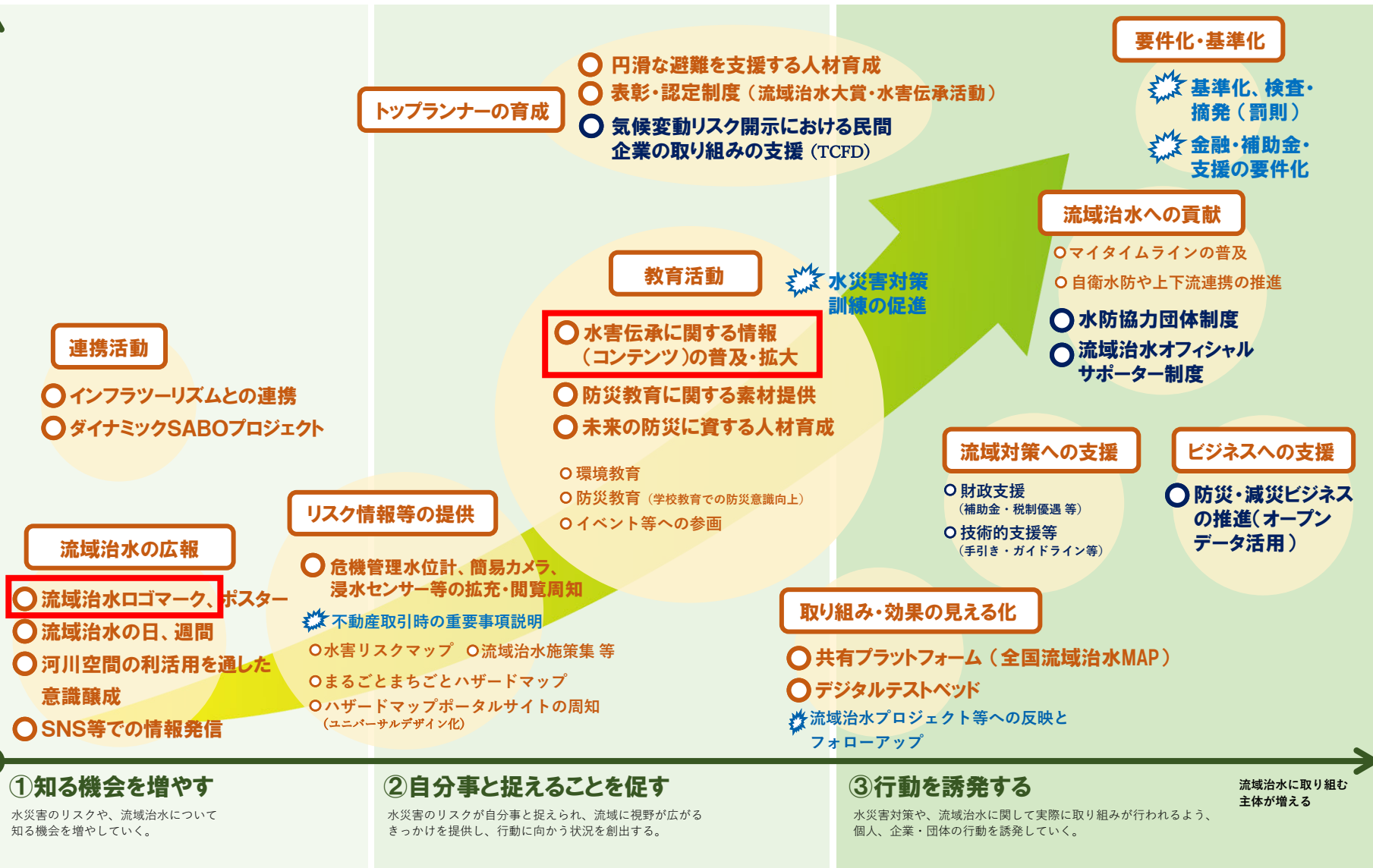
細字：既存施策
太字：新規施策

○ 自発的な取り組み
を促す施策

○ 特に企業を対象と
した施策

一定の強制力を
伴う施策

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



流域治水に取り組む
主体が増える

流域治水ロゴマーク選定結果

公募期間 : 令和5年12月21日～令和6年1月22日

応募数 : 32作品 (22名)

審査委員会 : 令和6年2月15日開催

選定作品、説明



グレースケール



箔押し、エンボス
加工用1色データ



審査委員

上田 壮一 委員
一般社団法人Think
the Earth理事

指出 一正 委員
株式会社ソトコト・
オンライン
代表取締役

吉高 まり 委員
三菱UFJリサーチ &
コンサルティング
株式会社フェロー
(サステナビリティ)

デザインメッセージ

日本はどこに行っても川があり、水に囲まれています。資源でもあります、災害も引き起こす川と共存して行かなければなりません。

中央の図形は、多様な地域同士が行政界を超えて流域で連携していくイメージを重ねて表現しています。その周囲を囲むような円は、水災害対策により流域を守っていくことを、円の端の手は、このような対策は長年多くの人の手により進められてきたことや、これからも地域同士、住民同士が手を取り合って水災害に立ち向かっていくという意志を表したものです。

また、さまざまな水滴の円は、協働して水害に対して備えていく国、自治体、団体、住民を表しています。

使用シーン

例：各取組主体が作成するパンフレット、ポスター、説明資料、プレスリリース、名刺、看板、展示物、ウェブサイト、SNS、広報物、各種案内 等

リーフレット（表紙）での使用例



名刺での使用例



ウェブサイトでの使用例



「NIPPON防災資産」の認定制度の創設

- 内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※などを「NIPPON防災資産」として認定する制度を新たに創設（令和6年5月）。
〔内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定〕
- 今後、認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクを自分事化し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげていく。

※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等

背景

- 近年、全国各地で災害が発生し、災害後には「まさか自分が被災者になるとは…」という声が発せられるなど、多くの人が災害を自分のこととしてとらえていない。
- 一方で、過去の災害の伝承により、命が救われた事例もある。

災害リスクの自分事化に向けて

- 認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、「災害リスクを自分事化」し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげる。

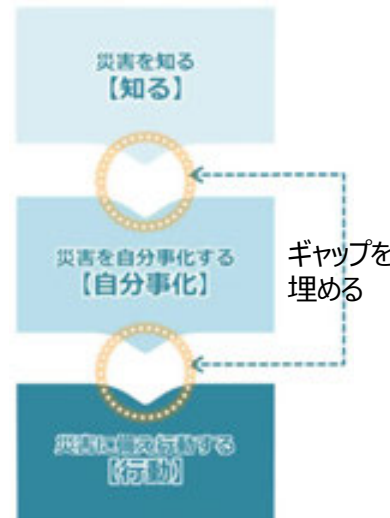
内閣府特命担当大臣(防災担当)、国土交通大臣による認定

- 内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定を実施。

「優良認定」、「認定」。

- ・ 「NIPPON防災資産」認定証の授与
- ・ ウェブサイト等でコンテンツを紹介

防災資産の普及・拡大によりこの国に暮らすひとりひとりが、災害リスクを自分事化し、主体的な防災行動へ



【活動事例】※「災害の自分事化協議会」資料より
えちごせきかわ大したもん蛇まつり（新潟県関川村）
・ 1967年8月28日の羽越水害後20年を契機に始まった、村の大蛇伝説と交え、水害を伝承する祭。
・ 水害発生日の数字に合わせ、82.8mの大蛇を竹と藁で作成し、村内を練り歩き高台に移動。

流域治水オフィシャルサポーター

- 流域治水に取り組む企業等や流域治水の取組を支援する企業等を幅広く周知するとともに、流域治水に資する取組を促進するため、オフィシャルサポーター制度を創設。
- 流域治水の推進に取り組む企業等をオフィシャルサポーターとして認定し、その取組を国土交通省ウェブサイト等で紹介するほか、企業等の活動において、オフィシャルサポーターである旨を明記することが可能。
- 令和6年度流域治水オフィシャルサポーターとして111の企業・団体等を認定。

＜流域治水オフィシャルサポーター取組例(令和5年度)＞

企業WEB ページでの 周知活動



イベント時の チラシ配布・ パネル展示



社内研修・ 外部向け セミナー開催



流域治水の オリジナル 教材作成

流域治水 親子シール遊びキット

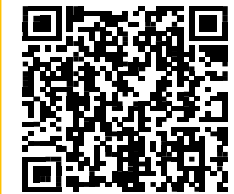


左が手書きによる素案 右が完成版





全国の流域治水の取組を共有するプラットフォームを
カワナビのWEBページ内に開設。
(一般の方も投稿いただけます)
住んでいる地域の取組を探してみましょう。



掲載事例

みんなのアクション

流域治水ってなに？ 絵本と模型で 身近な防災について学ぼう

by 国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所
四万十川



タグ

流域治水 防災教育 水防工法

水防工法

エリア

四国

流域治水について学び、四万十川流域で具体的に取り組んでいる内容を多くの方々に知っていただくため、中村河川国道事務所職員で流域治水に関する絵本を作成し、近隣の小学校へ配布及びホームページにて公開しています。

雨の多くなる季節の前の令和5年5月16日～6月4日の期間中、作成した絵本のパネル及び水防工法を紹介するミニチュア模型を地元商業施設「アピアさつき」にて展示しました。

大人から子どもまで、身近な防災について考えるきっかけになるよう今後もPR活動を行っていきます。

絵本はこちらからご覧いただけます →

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/ehon.pdf>

